

一般社団法人 環境地盤工学研究所 令和2年度通常総会 議事録

1. 日時：令和2年9月5日（土）14:00～14:30
2. 場所：京都大学大学院地球環境学堂会議室（ZOOM 会議方式による）
3. 出席者：個人会員 52 名、法人会員 15 団体、委任状 46 通
4. 配布資料：

資料－1：一般社団法人環境地盤工学研究所令和2年度通常総会資料

資料－2：第13回環境地盤工学研究会 講演資料

5. 議事等：

令和2年度の通常総会の開催に当たり、司会を担当した乾理事から本年6月末で153名(4名の特別会員を含む)の個人会員、法人会員 56 団体の参加に至っていることの報告があり、各位のご支援に対する謝意の表明があった。この結果、議決権のある社員総数は、205 及んでいる。

また、嘉門理事長から開会挨拶として、今年初めからの新型コロナ禍の影響を受けて、RIEG の活動にも制約が生じているが、可能な限り活動を維持するように努力するという決意表明があった。本日の総会は全面オンライン方式にせざるを得なかったが、令和2年度も環境地盤工学に関する研究・技術開発・普及等について、継続してご支援・ご指導を賜りたいと述べた。

本日のオンライン総会への出席社員数は113名（うち委任状は46通）と過半数を超えており、また役員の理事は全員出席であることから、総会は適法に成立した。

司会の乾理事から当法人の定款第16条に則り、議長を代表理事が務めることになっていることから、嘉門理事長が議長を務めると発言があり、令和元年度の総会の開催を宣言した。

(1) 議案

- ・第1号議案 「令和元年度事業報告に関する件」

議長の指示で勝見理事が、あらかじめ配布した資料に沿って、令和元年度の事業活動の報告を行った。当初予定した講演会やフォーラムによる知識普及事業、研究委託や技術相談の紹介業務等について説明するとともに、令和元年度若手研究者研究助成事業として、3件の助成を決定した。

さらに、昨年9月7日に開催した通常総会では73名の参加を得たこと、今年3月7日に予定していた第6回 RIEG フォーラムは、新型コロナ禍の影響を受け中止としたこと、RIEG としては初めての事業である現場見学会を、加藤隆会員（大成建設）のご尽力を得て、2月6日に実施して定員一杯の40名の参加者を得て有意義に終えたこと

等の報告をした。

・第2号議案 「令和元年度決算に関する件」

引き続き勝見理事から当期の決算状況について報告した。

当法人収入は会費収入が主であるが、交流会参加費などを含め当期収入総額は4,713,020円であった。一方経費については、3件の若手研究者研究助成金が1,500,000円、事務室賃貸料が570,000円となり、支出総額2,937,987円であった。その結果、次期繰越金として1,775,033円を令和2年度の活動に向けて留保できた。最後に、8月21日に実施した会計監査の結果である監査報告書を、村田監事に代わって嘉門議長が代読した。

議長は、「事業報告、決算全体についてご質問・ご意見等はありませんか」の問いかけを行ったが、特に質問は無く承認された。

(2) 報告事項

・報告事項1 「令和2年度事業計画について」

勝見理事から令和2年度の活動予定の概要を説明した。前年度の活動を踏襲して、環境地盤工学に関わる多様な課題の解決と、人財の活用を推進し、社会貢献に資することを目指して次のような活動を実施する。

(1) 環境地盤工学に関する内外の調査研究に関する業務

所属する4理事の研究活動を通じて実施し、関連学会等での講演発表などを今後もRIEGホームページにて公開し、会員への情報提供に努める。

(2) 環境地盤工学に関わる技術開発と指導

理事との個別面談を通じて会員の要望に応えるように努める。ただし、個別に委託研究が必要となる場合は前年度と同様に、他の財団などへ受託研究の受け入れを斡旋する。

(3) 環境地盤工学に関わる一般への普及

会員への情報提供を中心に、講演会を第13回環境地盤工学研究会として令和2年9月5日に開催するほか、第6回RIEGフォーラムを令和3年3月頃に開催を予定する。

(4) 若手研究者研究助成事業の推進

環境地盤工学に関わる若手研究者助成事業として本年度も3名程度助成する。法人会員の方も所属の40歳未満の若手研究者に応募を促してもらうように依頼した。なお、研究助成に採択された際には、当該者は当法人の個人会員として入会してもらうこと的前提条件はこれまでと同様である。

(5) その他、当法人の目的を達成するために必要な業務

ホームページの充実には今後も努力し、可能な限り迅速なアップデートを行う。さらに、昨年度から始めた RIEG 人財バンクについて、環境地盤工学に関わる人財の活動支援をより一層進め、データ収録に努めるとともに、各法人会員の企業活動における人財活用へのマッチングを進めたい。

・報告事項2 「令和2年度収支予算について」

令和2年度予算については、収入予定総額が 4,713,003 円であり、本年度活動予定の経費については不足なく運営できることが説明された。

・報告事項3 「会員に関すること」

令和2年度会員については、令和2年8月31日現在で個人会員は149名、特別会員は6名、法人会員は57団体に及んでいる。

75歳以上の個人会員の特別会員への移行は、お申し出に基づいて現在5名であり、外国在住の方1名である。

議事経過要旨及びその結果を明確にするために、出席の理事は次に押印する。

令和2年9月5日

一般社団法人 環境地盤工学研究所

代表理事 嘉門 雅史

理事 勝見 武

理事 乾 徹

理事 高井 敦史